

全体目標	各目標における評価指標	目標の達成状況			評価	平成28年度実施事業ごとに定めた目標の達成状況、事業の実施状況、各目標に対する見解 <small>【達成・目標を達成】【概ね達成・目標の8割程度達成】【改善傾向・目標値に向け改善】【未改善・目標値に向け改善せず】【今後評価・今後結果が公表等】</small>
		計画策定時	28年度結果	目標値		
目標① 地域包括ケアの推進	介護が必要になっても自宅や地域で暮らし続けられると感じる県民の割合	40.5%(H27)	今後調査予定	増加(H29年)	今後評価	【事業の指標ごとの目標の達成状況】事業総数 4 事業 アウトカム目標 総数 4 (達成 2 概ね達成 改善傾向 1 未改善 1 今後評価 0 ) アウトプット目標 総数 4 (達成 2 概ね達成 2 改善傾向 0 未改善 0 今後評価 0 )  【事業の実施状況】 ・在宅医療に関わる医療・福祉関係者による協議会の開催による連携強化や地域リハビリテーション連携体制の構築を図った。 ・在宅歯科に必要な医療機器の設備整備(50施設)に助成した。また、在宅歯科医療連携室を設置し窓口相談、歯科診療所等の紹介を行った。 ・訪問看護に関する普及啓発(フォーラム、就職フェア、研修会等)の実施、訪問看護ステーションの運営管理などに関する総合相談窓口を設置・運営することにより訪問看護の理解促進を図った。 ・退院支援における問題点が明確化され、退院支援に関するシンポジウム等を通して多職種連携体制を図った。  【目標①地域包括ケアの推進に対する見解】(国に事後評価を提出するにあたっての千葉県としての自己評価) ・訪問歯科診療の整備や退院支援体制の整備については、目標の達成や改善傾向がみられ、一定程度進んだ。 ・訪問診療、訪問看護については、今年度新たに在宅医養成研修や在宅療養支援アドバイザー派遣、病院管理者向けの訪問看護に関する研修を実施しており、引き続き改善策の検討を図り在宅医療の提供体制の整備を重点的に進めていく。
	機能強化型訪問看護ステーション数(訪問看護ステーション数から指標を変更)	14箇所(H27年12月)	16箇所(H29年6月)	18箇所(H29年度)	改善傾向	
	在宅療養支援診療所数	356箇所(H28年6月)	339箇所(平成29年6月)	372箇所(H29年度)	未改善	
	在宅療養支援歯科診療所数	216箇所(H28年6月)	325箇所(H29年6月現在)	352箇所(H29年度)	改善傾向	
	在宅患者訪問診療実施診療所数	491箇所(H26年9月)	今後調査予定(厚労省 平成29年度医療施設調査 H29年10月頃調査開始予定)	970箇所(H29年度)	今後評価	
	在宅患者訪問診療(居宅)実施歯科診療所数	342箇所(H26年10月)	今後調査予定(厚労省 平成29年度医療施設調査 H29年10月頃調査開始予定)	450箇所(H29年度)	今後評価	
	入院中の患者に対して退院時共同指導を実施している病院数	37箇所(H24年9月)	39箇所(H27)	増加(H29年度)	達成	
目標② 医療機関の役割分担の促進	自分が住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制にあると感じている県民の割合	60.1%(H27)	61.9%(H28)	66.0%(H29)	改善傾向	【事業ごとの目標の達成状況】事業総数 7事業 アウトカム目標 総数 7(達成 概ね達成 改善傾向 7 未改善 今後評価 ) アウトプット目標 総数 7(達成 2 概ね達成 改善傾向3 未改善 1 今後評価 1 )  【事業の実施状況】 ・がん診療施設・設備整備を実施した。(4箇所) ・院内助産所・助産師外来設備整備を実施した(2箇所)  【目標②医療機関の役割分担の促進に対する見解】(国に事後評価を提出するにあたっての千葉県としての自己評価) ・地域包括ケア病棟の病床数や回復期リハビリテーション病棟の整備については、目標の達成や改善傾向がみられ、一定程度進んだ。 ・救急医療機関の機能強化や医療機関の役割分担の促進について、引き続き改善策の検討やその他手法の検討などを図りながら関連事業を継続し、重点的に実施する。
	回復期リハビリテーション病棟の病床数(人口10万対)	54.5床(H28年度)	55床(H29現在)	57床(H29年度)	改善傾向	
	地域包括ケア病棟の病床数(人口10万対)	13.5床(H28年度)	20床(H29.4現在)	増加(H29年度)	達成	
	心肺停止状態で見つかった者の1ヶ月後の生存率	14.3%(H26年)	13.5%(H27年)	20%(H29年)	未改善	
目標③ 医療従事者の確保・定着	医師人数	11,337人(H26年)	調査中(厚労省 平成28年度医師、歯科医師、薬剤師調査 H29年12月頃公表予定)	増加(H29年)	今後評価	【事業ごとの目標の達成状況】事業総数 14事業 アウトカム目標 総数 14 (達成 7 概ね達成 改善傾向 3 未改善 1 今後評価 3 ) アウトプット目標 総数 14 (達成 4 概ね達成 3 改善傾向 2 未改善 5 今後評価 )  【事業の実施状況】 ・臨床研修医を対象とした合同就職説明会や研修を実施した。 ・女性医師就労支援の取組みに必要な経費を支援し、13医療機関へ助成を実施した。 ・看護師等学校養成所への運営費の支援、看護師養成の県内で看護業務に従事しようとする者に対する修学資金の貸付、看護学生を受け入れる実習病院の運営費の支援を実施することにより、看護職員の養成定着を図った。 ・未就職看護職者の再就業に向けた講習会等を開催し、再就業者が増加した。 ・新人看護職員、看護職員の研修を行い、離職率の低下を図った。 ・病院内保育所の設置を行う医療機関に対し助成を実施した。 ・看護師宿舎施設を整備する医療機関に対し助成を実施した。 ・薬剤師及び歯科衛生士の復職支援研修を実施した。  【目標③医療従事者の確保・定着に対する見解】(国に事後評価を提出するにあたっての千葉県としての自己評価) ・看護職員の確保や定着については、目標の達成や改善傾向がみられ一定程度進んだ。 ・医師の確保や定着については、引き続き、改善策やその他手法の検討などを図りながら、医師確保対策事業を継続し、重点的に実施する。
	看護職員数	52,636人(H26年)	55,759人(平成28年末)	増加(H29年)	達成	
	初期臨床研修修了者の県内定着率	59.4%(H28年3月修了者)	50.8%(H29年3月修了者)	80.0%(H29年3月修了者)	未改善	
	看護職員の離職率	11.9%(H26年度)	11.7%(H27年度)	低下(H29年度)	改善傾向	
	看護師等学校養成所卒業生の県内就業率	67.3%(H28年3月卒業生)	67.3%(H29年3月卒業)	70.5%(H29年3月卒業生)	未改善	
	看護職員の再就業者数(県のナースセンター事業によるもの)	186人(H27年度)	269人(H28年度)	180人以上(H28年度)	達成	
地域医療目標格差④ 解消	医療施設従事医師数(産科・産婦人科)(人口10万対)	6.8人(H26年)	調査中(厚労省 平成28年度医師、歯科医師、薬剤師調査 H29年12月頃公表予定)	7.0人(H28年)	今後評価	【事業ごとの目標の達成状況】事業総数 6事業 アウトカム目標 総数 6 (達成 4 概ね達成 0 改善傾向 0 未改善 今後評価 2) アウトプット目標 総数 6(達成 3 概ね達成 1 改善傾向1 未改善1 今後評価 )  【事業の実施状況】 ・医師不足病院医師派遣促進を実施し、9名の医師派遣を行った。 ・産科医確保・育成のために、産科医等の処遇改善等のための分娩手当や研修手当を支給する医療機関に対して、その手当の一部を助成した。 ・新生児医療に従事する医師に対して処遇改善等のための手当を支給する医療機関に対して、その手当の一部の助成を実施するとともに、小児救急医療の拠点となる病院の体制整備を実施した。また小児救急電話相談の充実により、負担軽減を図った。  【目標④地域医療の格差解消に対する見解】(国に事後評価結果を提出する際に記載する千葉県の見解) ・産科医数、小児科医数については、現在調査中であるが、産科医、小児科医確保に関連する多くの事業を実施しており、引き続き、医師数の動向等を注視しながら地域医療の基盤を支える自治体病院の医師不足解消や周産期医療・小児救急医療の体制整備を継続し、重点的に実施する。
	医療施設従事医師数(小児科)(人口10万対)	10.3人(H26年)	調査中(厚労省 平成28年度医師、歯科医師、薬剤師調査 H29年12月頃公表予定)	10.5人(H28年)	今後評価	

全体目標	各目標における評価指標	目標の達成状況			評価	平成28年度実施事業ごとに定めた目標の達成状況、事業の実施状況、各目標に対する見解 <small>(【達成:目標を達成】【概ね達成:目標の9割程度達成】【改善傾向:目標値に向け改善】【未改善:目標値に向け改善せず】【今後評価:今後結果が公表等】)</small>
		計画策定時	28年度結果	目標値		
目標⑤ 介護施設等の整備促進	介護が必要になっても自宅や地域で暮らし続けられると感じる県民の割合	40.5% (H27年)	今後調査予定	増加 (H29年)	今後評価	<p>【事業ごとの目標の達成状況】 事業総数 3 事業 アウトカム目標 総数 3 (達成 概ね達成 改善傾向 2 未改善 1 今後評価 ) アウトプット目標 総数 3 (達成 概ね達成 改善傾向 1 未改善 2 今後評価 )</p> <p>【事業の実施状況】 ・広域型特別養護老人ホームの整備に着手した。(4箇所・330床) ・地域密着型特別養護老人ホームを整備2箇所・58床 ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所を1箇所整備した ・認知症高齢者グループホームを(1箇所・9床) ・小規模多機能型居宅介護事業所の整備に着手した(3箇所) ・看護小規模多機能型居宅介護事業所の整備に着手した(3箇所) ・地域包括支援センターを2箇所整備した。</p> <p>【目標⑤ 介護施設等の整備促進に対する見解】(国に事後評価を提出するにあたっての千葉県としての自己評価) ・介護施設等の整備については、概ね改善傾向であり、一定程度進んだ。 ・目標の達成に向けて引き続き、市町村等と連携しながら介護施設等の整備の推進を図っていく。</p>
	「定期巡回随時対応型訪問介護看護」を実施している市町村数	16市町村 (H28年3月)	17市町村 (H29年3月)	30市町村 (H29年度)	改善傾向	
	特別養護老人ホーム整備定員数(広域型・地域密着型)	24,332床 (H28年7月)	24,819床 (H29年4月)	27,880床 (H29年度)	改善傾向	
	広域型特別養護老人ホーム	22,596床 (H28年7月)	23,054床 (H29年4月)	23,440床 (H28年度)	改善傾向	
	地域密着型特別養護老人ホーム	1,736床 (H28年7月)	1,765床 (H29年4月)	1,967床 (H28年度)	改善傾向	
	介護老人保健施設	15,042床 (H28年2月)	15,113床 (H28年度)	15,590床 (H28年度)	改善傾向	
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所	469人/月 (H27年度)	561人/月 (H28年度)	1,442人/月 (H28年度)	改善傾向	
	認知症対応型デイサービスセンター	12,485回/月 (H27年度)	13,693回/月 (H28年度)	17,766回/月 (H28年度)	改善傾向	
	認知症高齢者グループホーム	6,200人/月 (H27年度)	6,315人/月 (H28年度)	6,868人/月 (H28年度)	改善傾向	
	小規模多機能型居宅介護事業所	1,910人/月 (H27年度)	2,060人/月 (H28年度)	2,903人/月 (H28年度)	改善傾向	
看護小規模多機能型居宅介護事業所	93人/月 (H27年度)	105人/月 (H28年度)	241人/月 (H28年度)	改善傾向		
目標⑥ 介護従事者の確保・定着	介護職の就労者数	67,600人 (H25年)	調査中 (厚生労働省 需給推計 平成30年6月公表予定)	80,000人 (H28年) ※平成27年6月確定値による推計	今後評価	<p>【事業ごとの目標の達成状況】 事業総数 28事業 アウトカム目標 総数 28 (達成 14 概ね達成 4 改善傾向 2 未改善 今後評価 8 ) アウトプット目標 総数 28 (達成 13 概ね達成 5 改善傾向 8 未改善 2 今後評価 )</p> <p>【事業の実施状況】 ・生活支援コーディネーター養成研修を実施し、コーディネーターを養成した。 ・地域における高齢者の社会参加と地域の担い手を養成する事業を実施した。 ・福祉人材の参入促進のために、福祉・介護体験等のセミナーの開催や合同面接会の開催、就職相談等を実施した。 ・介護職員の資質向上のために、喀痰吸引の研修等を実施した。 ・認知症ケアに携わる人材育成のために、サービス事業管理者への研修やかかりつけ医や病院勤務の医療従事者向け研修を実施した。 ・認知症初期集中支援チーム構築の支援を実施した。 ・介護ロボットの導入を図る事業者に対し助成を実施した。</p> <p>【目標⑥ 介護従事者の確保・定着に対する見解】(国に事後評価を提出するにあたっての千葉県としての自己評価) ・介護従事者の定着について、更なる離職率の低下に向け、引き続き人材定着事業を実施していく。 ・介護従事者の確保については、現在調査中ではあるが、多くの関連事業を実施しており、引き続き、改善策やその他手法の検討などを図りながら、介護従事者の確保・定着事業を継続し、重点的に実施する。</p>
	介護職員の離職率	18% (H26年)	17.8% (H28年)	減少 (H28年)	達成	